

世田谷区の状況と東京ティーンコホートについて

(世田谷区玉川総合支所保健福祉センター健康づくり課長石崎泰江)

世田谷区では子ども・若者部若者支援担当課が事務局となり、子ども・若者支援協議会が年2回開催されています。協議会では実務者会議として不登校・ひきこもり支援部会、ひきこもり・就労部会、思春期青年期精神保健部会が立ち上がっています。また世田谷区には世田谷区若者総合支援センターがあり、その中にメルクマールせたがや（相談・居場所）とせたがや若者サポートステーション（就労支援）があります。また世田谷区では昨年10月世田谷区若者施策に関する調査報告書をまとめました。

さらに協議会の中では年に一回外部講師による講演会が行われています。

昨年は東京都医学総合研究所「心の健康プロジェクト」山崎修道先生による東京ティーンコホートおよび思春期ビックデータの分析についてご講演いただきました。

思春期のところを科学的に明らかにするために世田谷区・調布市・三鷹市に住む3000人を抽出し2012年から10歳、12歳、14歳、16歳と調査しデータを分析しています（まだまだ続く予定）。思春期のところを理解しどう支えればよいか、安心して相談しあえる環境づくりをどうつくっていくかという今後の方向性に期待しています(<http://ttcp.umin.jp/>)。